平成２７年度 事務事業及び施策評価シートの記載について

１　シートは昨年度の内容のままですので，加筆・修正箇所が分かるように赤字で修正願います。
※タイトル(最上段)の「平成２７年度 事務事業及び施策評価シート」及び参考データの年度「平成２５年度，平成２６年度，平成２７年度」の青文字部分だけ庶担で修正済みです。
（参考データにある数値は動かしていないので修正してください。）

２　事業・取組の内容及び実績について
シートは主な施策ごとで担当課別になっています。主な施策に対応する事業・取組をあらかじめ記入してありますので，内容及び実績を記入するに当たっては，「市政のあらまし（行政編）」「旭川市の教育」「決算説明資料」等の文言を用い具体的に，かつ，できるだけ簡潔に記入してください。

３　評価について
⑴　「点検・項目」欄
主な施策とそれを構成する事業・取組を下記の(ｱ)～(ｵ)に示す視点及び評価基準に従って点検し，その結果について「高」「中」「低」の区分により記入してください。
(ｱ)　妥当性　～　事業の内容が市民ニーズや社会的傾向に適応しているか，また，目標の達成に向けた手段として適切であるか。
(ｲ)　達成度　～　平成２７年度末までの事業の実施状況が，目標の達成に向けて順調に推進されているか。
(ｳ)　連続性　～　継続的な学習機会を提供しているか。事業終了後の自主学習につながるか。（継続性）
(ｴ)　発展性　～　学習者の理解度や習熟度に合わせた内容となっているか。事業内容がマンネリ化していないか。学習成果の還元や活用につながるか。（系統性）
(ｵ)　周知度　～　広報手段は適切か。期待する参加状況であったか。新たな学習者層を開拓したか。（啓発度）
※ 連続性，発展性，周知度は，施設・設備の改修や補修の場合は，「／」（斜線）とする。

・評価基準

	高	中	低
妥当性	妥当性がある	どちらともいえない	妥当性がない
達成度	達成している	同　上	達成していない
連続性	連続性がある	同　上	連続性がない
発展性	発展性がある	同　上	発展性がない
周知度	周知が十分である	同　上	周知が十分ではない

⑵　「説明等」欄

「参考データ」の指標を踏まえた内容となるよう留意してください。

特に，「参考データ」の指標が「減」となっている場合に「高」評価などがなされている場合は，詳細な説明が必要となります。

なお，基本的に「説明等」に記入された内容を，「社会教育基本計画の点検・評価」及び「教育委員会の事務に関する点検・評価」にある「施策単位の評価」に記入する予定です。このため，「説明等」を記入するに当たっては，「～の開催（実施）により，～することができた」「～を開催（実施）したが，～の必要（の工夫の余地）がある」等，可能な限り評価が説明される表現となるよう心掛けてください。なお，複数の施策からなる事業・取組については，全ての施策に係る評価を記入する必要はありません。施策のうちの主なものや特に説明を要するものなどについて記入してください。

新たな取組，課題解決に取り組んだ内容とその結果等を記入するなど，できるだけ昨年度と同じ内容にならない様，工夫をお願いします。

４　参考データについて

昨年度と同様に平成２５年度～２７年度における３か年の数値から折れ線グラフを作成します。なお，事業・取組内容から，参考データを記入できないものについては，「／」（斜線）としてください。

参考データの年度（青字部分）だけ修正しましたので，数値は正しく修正してください。

５　今後の課題について

平成２７年度中の主な取組を踏まえ，施策・事業等の課題について具体的に，かつ，できるだけ簡潔に記入してください。

６　今後の方向性について

評価や課題を踏まえ，取組の継続・拡充など今後の方向性について具体的に，かつ，できるだけ簡潔に記入してください。